



2017年3月14日
松井産業 株式会社
全国イシンホーム住宅研究会

News Release

報道・メディア関係各位

イシンホームの太陽光発電が計7千棟、9万kWを突破 3/25, 26 埼玉県八潮市で完成見学会

松井産業株式会社(本社：埼玉県三郷市、代表取締役社長：松井宏之)は、2017年3月25日(土)・26日(日)の10:00~16:00、埼玉県八潮市において、最大出力11.48kW(キロワット)・41枚の太陽光発電パネルを搭載した新築戸建て住宅「イシンホーム」の完成見学会を開催します。

会場は八潮市大字南川崎のTX八潮駅東地区保留地27-14、M様邸となりますので、是非取材にお越しく下さい。所在地がわかりにくいいため、事前にお問い合わせください。

「イシンホーム」は、全国イシンホーム住宅研究会(本部：岡山県津山市、代表：石原宏明)に加盟する約230店の工務店が建設する住宅ブランドです。

2009年11月より大容量の太陽光パネルを搭載するようになり、搭載棟数は合計7,000戸、発電総出力は合計90,000kWに達しています。(2016年12月末現在の完工ベース)その他にイシンホームはメガソーラー等の産業用発電所も手掛けており、合計75,000kWが完工しております。住宅の屋根上と産業用の総合計165,000kWは、一般の家庭での電力使用量約33,000所帯分に相当します。

全国イシンホーム研究会は、太陽光発電の普及の為、「ZERO SECH(ゼロセッチ)」という名称で、通常400万円以上となるソーラーパネルを、初期費用が無料となるリース契約で導入されるよう、お勧めしています。

この方法で、例えば11.48kW分のソーラーパネル搭載をシミュレーションすると、月々の返済費用約2万円は、売電収入約2.5万円で購入ことができ、条件と地域によりますが毎月約5千円の黒字となります。20年間の売電契約のうち、10年間を経過すると完済となり、ソーラーパネルの所有権は施主様に移行します。残り10年間の売電収入は、すべて施主様の受け取りとなります。

このように大容量の太陽光発電には経済的なメリットも大きいのですが、それに加えて再生可能エネルギーの利用、地球環境への貢献という側面もあります。化石燃料や原子力に依存した電力を太陽光に置き換えることで、地球温暖化の抑制にもつながります。

このたび八潮市で見学会会場となるイシンホーム「中庭のあるコートハウス」は、太

陽光発電の他、耐震+減震工法、超高断熱仕様、床暖房、床吸排気システム、家事動線を短くする間取り等も標準仕様で備え、ZEH基準を大きく上回っています。

他社ではこれらはオプション仕様となり、予算オーバーであきらめるお客様が多い中、イシンホームではこれらを標準仕様とすることで、セット価格として割安感を出し、他社との差別化・競争力の強化を図っています。

是非この機会に、全国で年間約3,500棟が完工する住宅ブランド「イシンホーム」をご取材くださるよう、お願い申し上げます。



埼玉県八潮市
「イシンホーム」
M様邸 完成パース図



◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆

松井産業株式会社 広報室（広報担当：大山 雅史 携帯：090-9380-4740）

本社所在地：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 1-1

TEL：048-957-3211（水曜日定休） FAX：048-959-2818

e-mail：kouhou@matsui-sangyou.co.jp

コーポレートサイト：<http://sumo-saitama.jp/>

注文住宅サイト：<http://www.matsui-sangyou.co.jp/>

全国イシンホーム住宅研究会

本部所在地：〒708-0013 岡山県津山市二宮 654-4

TEL：0868-28-9771(代表) FAX：0868-28-9787

HP：<http://www.ishinhome.co.jp>

一世紀企業を目指して



おかげさまで創業95周年

